

天文学とプラネタリウム

第30回



今月のお題

プラハの夏、ATPの夏



■新天文グッズのアイデアも続々と…?

魅力ある天文普及に国境無し。ヨーロッパでのATPの反響を、国際天文学連合総会@プラハから報告します。



www.tenpla.net

高梨直紘 (東大D2 / 天文学教育研究センター所属)

平松正顕 (東大D2 / 国立天文台ALMA推進室所属)

惑星の定義騒動、皆さんはどんな目で報道をご覧になっていたでしょうか。その中で注目されたのが、プラハで行われた国際天文学連合 (IAU) の総会。筆者は天文学の研究の成果を発表するついでに、天プラについても発表してきました。

シャルル・ド・ゴールの衝撃

プラハへは、パリのシャルル・ド・ゴール空港を経由して行きました。「帰国後の話のネタに」と空港の売店で現地の天文雑誌をめぐっていたら、見覚えのある青い絵柄のトイレットペーパーの写真が！状況を把握できるまでに数秒、驚きの声をぐっとこらえました。そう、天プラが作っている天文トイレットペーパーATPが、カラー写真入りで紹介されていたのです。私たちへの取材なんて無かったのに。「知らない間にATPが世界を席巻していたらどうしよう」衝撃的なパリでの一コマでした。

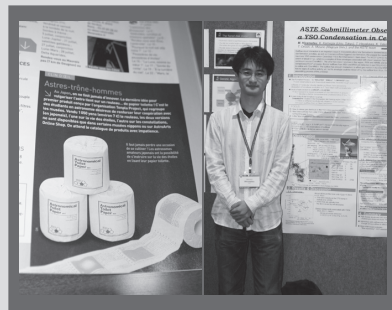
プラハの完全勝利

プラハではIAU総会にあわせ、様々な分野の天文学の研究会が行われました。その1つ、天文教育に関する研究会で、筆者は天プラの紹介をしてきました。研究会の場には不似合わないトイレットペーパーはどうしたって注目的。ポスター脇に吊り下げたATPはどんどん切り取られ、痩せていきます。日本語版しかなくても海外の天文学者たちに大うけです。“fantastic”、“beautiful”、様々な賛辞をいただきました。

研究会では、Sky&Telescope誌のスタッフによって注目すべきポスターが写真とともに次々紹介されていきました。そして最後に登場したのは、スクリーン一面の巨大なATP。会場からどよめきが起こります。紹介者のコメントは「えーと、これは見ればわかるよね」。この後、何人もの方にATPをちぎってお渡しし、残りは大変気に入ってくださったメキシコの女性天文学者に丸ごと贈呈しました。今頃メキシコで話題になっているかな？ATPに国境は無い、そんなことを再確認した今回のプラハ渡航でした。



研究会会場のスクリーンに大写しにされるATP (上) と、フランスの天文雑誌に掲載されたATP (左下)。



チリでの観測成果をポスター発表する平松 (右)。プラハに行く一番の目的はもちろんこの発表です。高梨は今はハワイ出張でお休み。